

我が県土
支え育む
希望郷



美しい 県土づくりNEWS

2021年

1月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第198号
令和3年1月29日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 主要地方道重茂半島線完工式を開催しました！
- 4 一般県道明戸八木線小田の沢工区が開通しました！
- 5 野田地区海岸防潮堤 & 米田地区海岸防潮堤
工事の進捗状況について
- 7 復興県土づくりシンポジウム(第46回土木技術研究
発表会)を開催！
- 9 第17回土木合同セミナー「岩手の道路の昔と今」を開
催しました！
- 10 岩手県空き家相談窓口のお知らせ

三陸復興

主要地方道重茂半島線 完工式を開催！

県がまちづくり連携道路整備事業により整備を進めてきた主要地方道重茂半島線の7工区について、昨年12月に全工区が完成したことから、令和3年1月23日(土)、主要地方道重茂半島線完工式を開催しました。

道路の完成により、安全・安心で円滑な交通が確保されるとともに、移動時間の短縮による利便性の向上や、水産物の安定的な輸送路の確保など、多くの効果が期待されます。



テープカット及びくす玉開披の様子

【復興関連道路】

主要地方道重茂半島線 完工式を開催！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県がまちづくり連携道路整備事業により整備を進めてきた『主要地方道重茂半島線の7工区』について、全工区が完成したことから、令和3年1月23日（土）に完工式を開催しました。

式典に先立ち、7工区の完成までの歩みとして震災直後の道路状況から完成後の道路状況を動画で上映し、事業報告を行いました。

式典には、主催者として達増知事、山本宮古市長、佐藤山田町長、来賓として県選出国會議員（代理）、県議會議員、宮古市議會議員、山田町議會議員、関係機関、漁業関係者、地元代表の方等、約50人の方にご出席頂きました。

式典では、達増知事及び山本宮古市長による主催者挨拶の後、関根県議會議長からご祝辞を賜りました。また、地域を代表して前宮古市議會議長で地権者として土地をご提供頂きました前川様から今後の主要地方道重茂半島線に対する期待のお言葉を頂き、最後に、佐藤山田町長からお礼の言葉を頂きました。

その後、テープカット及びくす玉開披を行いました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、規模を縮小して開催しました。



▲挨拶 達増知事



▲挨拶 山本宮古市長



▲お礼の言葉 佐藤山田町長



▲祝辞 関根県議會議長

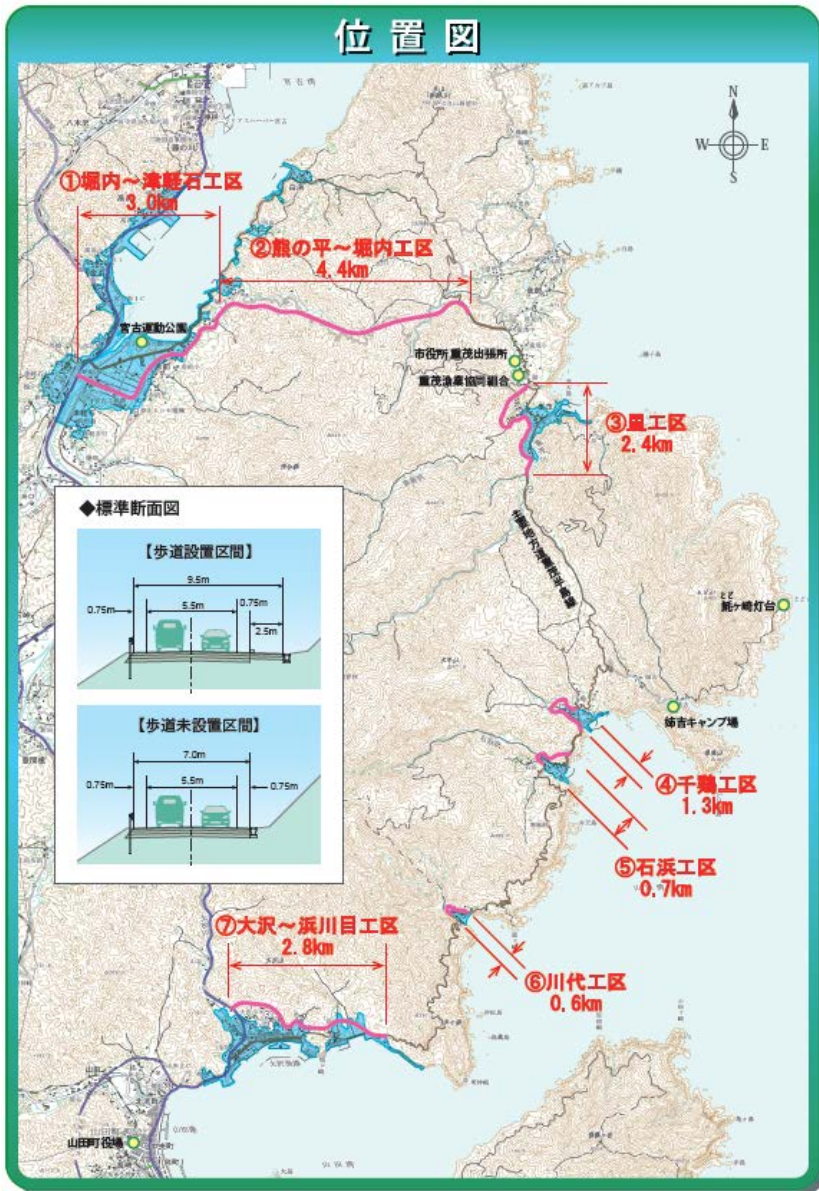


▲達増知事
▲山本宮古市長
▲佐藤山田町長
▲大井美由紀様
（鈴木俊一衆議院議員（代理））
▲千葉長利様
（横沢高徳参議院議員（代理））
▲鈴木雅彦様
（木戸口英司参議院議員（代理））
▲関根県議會議長



▲地域住民からの言葉
（前川昌登様）

▲テープカット及びくす玉開披



①堀内～津軽石工区



②熊の平～堀内工区



③里工区



④千鶏工区



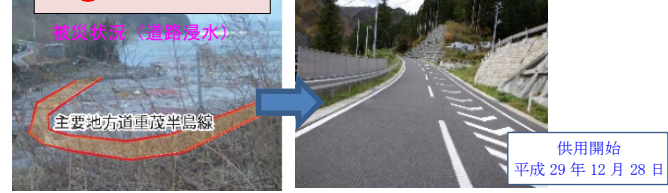
⑤石浜工区



⑦大沢～浜川目工区

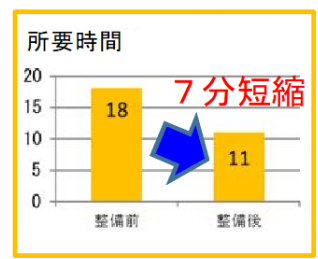


⑥川代工区



道路整備による効果

- 災害時における確実な緊急輸送の確保 (7工区)
東日本大震災津波で浸水した区域を回避した道路を整備したことにより、**同規模の津波が発生**した場合でも、各集落の孤立を防ぐとともに、**緊急輸送路が確保**されます。
- 水産物の安定的な輸送路の確保 (7工区)
幅員狭小、S字カーブ、急勾配が解消され **安全で円滑・確実な水産物の輸送路が確保**されます。
- 移動時間の短縮による利便性の向上 (津軽石～熊の平)
区間の **延長が約 10.5km から約 7.4km へ短縮**されるとともに **所要時間が約 7分短縮 (18分→11分)** となります。



【復興関連道路】一般県道明戸八木線

小田の沢工区が開通しました！

県北広域振興局土木部

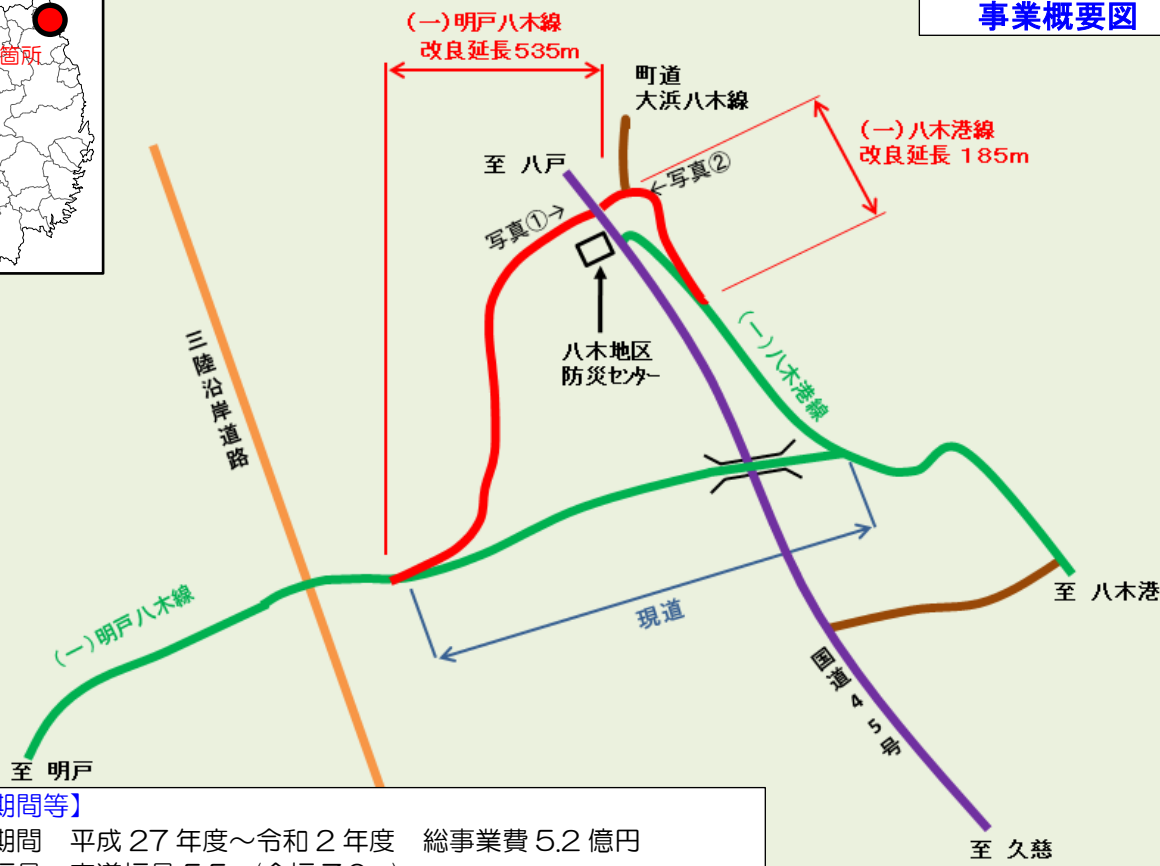
県が復興関連道路として整備を進めていた一般県道明戸八木線「小田の沢（こののさわ）工区」が、令和2年12月22日（火）午前11時に開通しました。

本路線は、九戸郡洋野町大野と同町種市を結ぶ道路であり、国道45号と立体交差する狭隘な道路で、医療施設や防災施設へのアクセスに課題がありました。

今回の開通により、一般県道2路線と国道45号が平面交差し、八木地区防災センターや種市病院へのアクセス道路として利便性が向上し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの強化が図られるとともに、地方港湾である八木港へのアクセス道路として物流の効率化に寄与することが期待されます。



事業概要図



【事業期間等】
事業期間 平成27年度～令和2年度 総事業費5.2億円
道路幅員 車道幅員5.5m(全幅7.0m)



▲写真①：一般県道明戸八木線



▲写真②：一般県道八木港線

野田地区海岸防潮堤 & 米田地区海岸防潮堤 工事の進捗状況について

県北広域振興局土木部

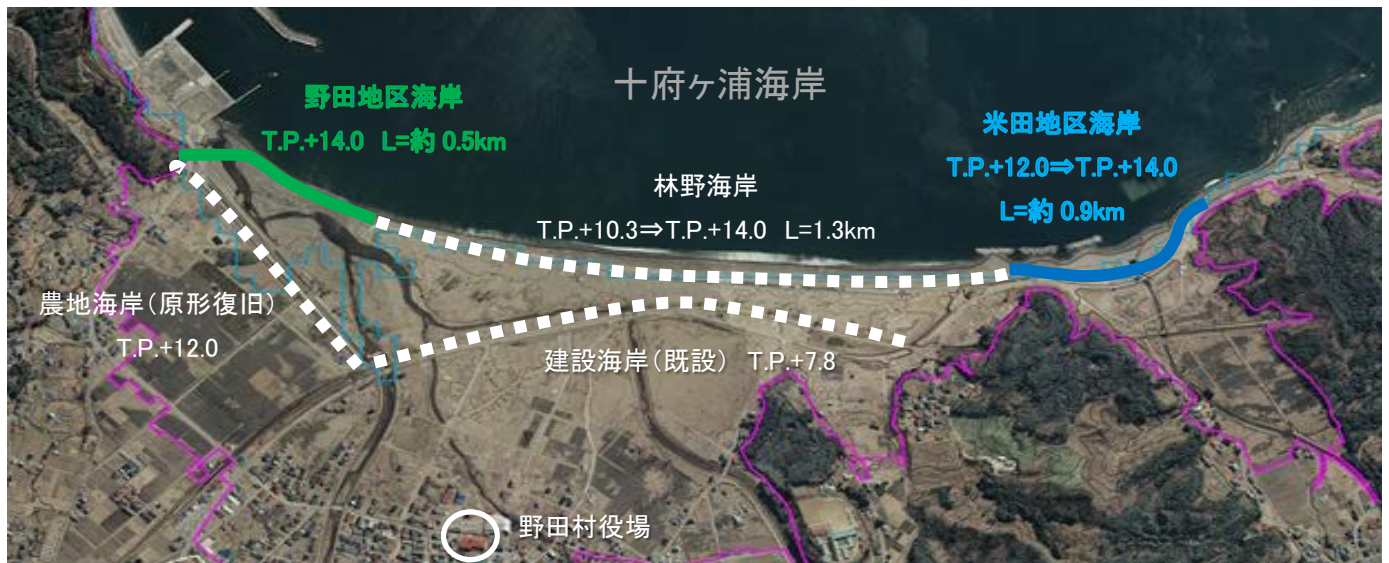
九戸郡野田村の十府ヶ浦海岸において、東日本大震災津波からの復興事業として県が進めている野田地区海岸防潮堤及び米田地区海岸防潮堤工事の進捗状況をお知らせします。

工事概要

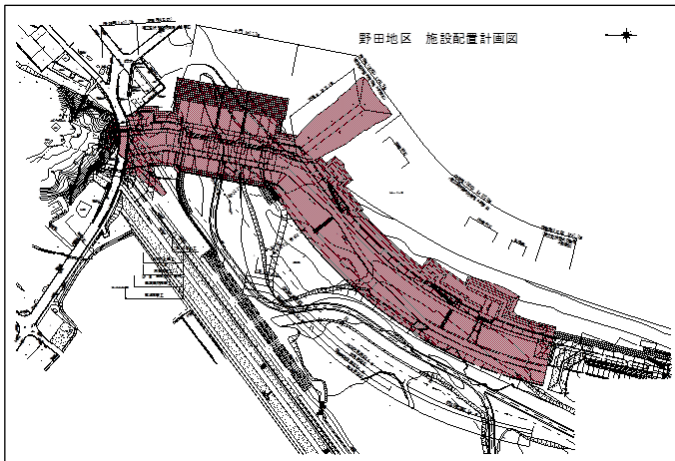
平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波で甚大な被害を受けた野田村の地域住民の生命や財産を守るための復興計画の一環として、海岸保全施設（防潮堤・水門・陸閘）の整備を行っています。

十府ヶ浦海岸は外洋に面し、台風や波浪等の影響が大きい中で遅延を最小限にする対策を講じながら工事を進めています。また、事業用地内にはハマナス・ハマボウフウなどの希少植物が生育していることから、有識者の助言を頂きながら移植やモニタリングを行うなどの配慮に努めています。

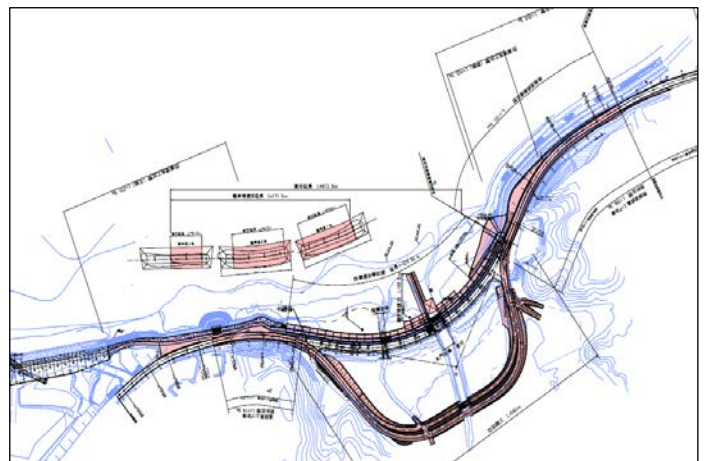
令和元年度末までに防潮堤工事が概成し、令和 2 年度中の完成に向け附帯工事を進めているところです。



▲野田地区海岸及び米田地区海岸 位置図



▲野田地区海岸 平面図



▲米田地区海岸 平面図

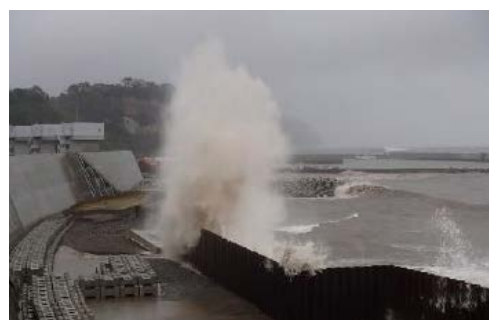
事業計画

海岸名	野田地区海岸	米田地区海岸
施工延長	490m (水門1基、陸閘2基)	914m (水門1基、陸閘1基)
計画天端高	T.P.+14.0m	T.P.+14.0m
ゲート	水門ゲート3門、陸閘ゲート2門	水門ゲート1門、 陸閘ゲート1門 (既設復旧)

現地写真



▲防潮堤全景 (野田地区海岸側より撮影)



▲R1.10.13 台風第19号の波浪状況



▲希少植物保全状況 (米田地区海岸)



▲野田地区海岸防潮堤



▲米田地区海岸防潮堤

完成時期

野田地区海岸防潮堤及び米田地区海岸防潮堤は、共に令和3年3月の完成に向け鋭意工事を進めています。完成まで住民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解・御協力の程よろしくお願ひします。

復興県土づくりシンポジウム (第46回土木技術研究等発表会)を開催!

県土整備企画室
建設技術振興課

東日本大震災津波の発災から10年を迎え、震災の記憶を傳承し、復興に向けた取組の成果を共有するとともに、自治体職員や公社等職員の技術力の研鑽と向上を図ることを目的として、1月22日に盛岡市「プラザおでって」にて『復興県土づくりシンポジウム』を開催しました。

開会にあたって、主催者を代表して中平県土整備部長から挨拶があり、東日本大震災津波発災後から、部長室に掲げられている「Z旗」に関するエピソードについて紹介し、復旧復興の10年間で積重ねた取組を活かした切れ目ない事業展開を進めていくことなどについて述べました。

会場には、県や市町村、公社等の職員のほか、応援職員の方々も含め約90名が参加し、新型コロナウイルス感染症対策（マスクの常時着用、消毒、換気等）を実施しながらの開催でしたが、盛況のうちに終了しました。



中平県土整備部長挨拶

開催状況の概要

○ 講演

「東日本大震災を体験して～あなたに助かってほしいから～」と題して、大船渡津波伝承館館長の齊藤賢治様から御講演いただきました。

御講演では、ご自身の体験を元に、発災直後に撮影した映像を用いながら、当時の様子や避難の重要性など、大変有意義なお話をいただきました。

防潮堤などのハード整備だけではなく「津波てんでんこ」に代表される考え方である、避難を第一に考え、『県民に知ってもらおう』ソフト対策の取組を継続していくことが重要であることを再認識することができました。



講演「東日本大震災を体験して ～あなたに助かってほしいから～」
齊藤 賢治 氏（大船渡津波伝承館 館長）



○ 事例発表

各所属で今年度取り組んだ7つの取組について、担当職員から発表を行いました。

防災・減災対策の推進や新技術活用等の取組について、会場からの質疑も交えながら、それぞれの知見を共有しました。

一般国道340号押角峠の整備状況（12/13開通）について （沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター）

令和2年12月13日に供用開始した一般国道340号押角峠工区整備事業の概要と、鉄道トンネルを活用したトンネル工事について説明するとともに、防災設備の内容や防災訓練及び開通式典の状況を紹介しました。〔佐々木技師〕



砂防事業の出前講座について

(沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター)

土砂災害とその対策について出前講座を行った事例を発表し、小学校・中学校を対象として**模型実験や現場見学、ワークショップ**等を行った事例の紹介や、**自然災害に強いまちづくりの意識付けを目的とした施設の竣工式**について説明しました。〔五日市技師〕



橋梁工事の新技术活用事例報告

(単径間合成床版橋及び床版部分打換の急速施工)

(盛岡広域振興局土木部岩手土木センター)

現場条件から施工の制約のあった橋梁工事及び橋梁補修工事について、**新技术を活用した事例とその成果**を発表し、技術の共有を図りました。〔左：村上技師、千葉技師〕



(仮称)高田松原津波復興祈念公園整備による古川沼の再生に向けた取組について

(沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター)

東日本大震災津波で被災した古川沼の再生のために実施した環境保全対策について発表し、工事により影響を受ける**重要植物に対する保全対策、要注意外来生物の伐採、水質の確認結果**について報告しました。〔中谷技師〕



東日本大震災津波災害復旧に係る大槌川・小槌川水門工事について

(沿岸広域振興局土木部)

水門工事で、労働生産性向上を目的として開発・活用された**4K定点カメラ映像による工事進捗管理システム**を発表し、その効果と**i-Constructionの浸透に向けて地元建設業者等への現場説明会の様子**などを紹介しました。〔左：渡邊技師、右：工藤技師〕



県道への越波防止の検討について

(県北広域振興局土木部)

観光客の利用が多い海沿いの県道において、越波による全面通行止めを解消するために採用した**越波防止柵を選定するまでの経緯等**について説明しました。〔川嶋技師〕



岩崎川河川改修にかかる汚染土壌対策について(報告)

(盛岡広域振興局土木部)

平成25年8月に発生した豪雨で広範囲に浸水や落橋被害を受けた岩崎川の河川改修事業において必要となった、**要対策土の処理**について、**経緯や処理方法等**について説明するとともに、**流域治水の取組**について紹介しました。〔藤原主任主査〕



○ パネル展

岩手県、公益財団法人岩手県土木技術振興協会における復興の取組について、パネル展示により紹介し、取組の成果を共有しました。



こうした機会を通じて、震災の経験を伝承し、職員の技術力の向上を図りながら、復興後の防災・減災対策をはじめとする県土整備を力強く推進していきます。

第17回 土木合同セミナー 「岩手の道路の昔と今」を開催しました！

土木合同セミナー実行委員会事務局（盛岡広域振興局土木部）

令和2年12月16日（水）、岩手県民会館中ホールにおいて、第17回土木合同セミナーを開催しました。

本セミナーは、自治体職員及び建設関係者の知識や技術力向上を目的とし、土木合同セミナー実行委員会が主催し開催しているものです。

今回は、「岩手の道路の昔と今」をテーマとし、検温、消毒、ソーシャルディスタンスといった新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで、行政、建設業、測量設計業等の団体から176名の参加をいただきました。



写真提供：(株)日刊岩手建設工業新聞社

第1部 映画上映

第1部では、県内の道路の歴史に関わる映画を2本上映しました。

(1) いわて人物史 vol.3 鞭牛のたどった道・牧庵鞭牛

江戸時代、宮古街道などの道路開削に生涯をかけた牧庵鞭牛和尚の足跡を、当時使用された道具などの資料をもとにたどり、宮古街道が出来た歴史を学びました。

(2) 仙岩道路 一般国道46号改築工事

1976年（昭和51年）に開通した仙岩道路（国道46号）の改築工事の施工記録映画です。当時、厳しい現場条件を克服しながら施工した技術者達の苦労の様子等を回顧しました。

第2部 講演

第2部では、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所の高松昭浩所長より、「三陸国道事務所の取り組みについて」と題し、復興道路・復興支援道路の進捗状況と整備効果、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等についてご講演をいただきました。

■ 三陸国道事務所の取り組みについて



写真提供：(株)日刊岩手建設工業新聞社

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所長 高松昭浩 氏

12月11日に閣議決定となった「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」については、「激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策」等、3つの柱における主な取り組みや5年後の達成目標を説明いただきました。

12月5日に開通した宮古盛岡横断道路（区界～築川）や、12月12日に開通した三陸沿岸道路（洋野種市 IC～階上 IC）を例に、急カーブや急勾配箇所の回避による安全安心な走行支援、迅速かつ安定した救急搬送支援、畜産物や水産加工品等の安定輸送による産業支援等、復興道路の事業効果について説明いただきました。また、今後開通予定である田野畑道路等の進捗状況についても紹介いただきました。

【主催】土木合同セミナー実行委員会

【構成団体】盛岡広域振興局土木部、公益財団法人岩手県土木技術振興協会、一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部、一般社団法人岩手県測量設計業協会、一般社団法人岩手県土木技術センター、株式会社日刊岩手建設工業新聞社

岩手県空き家相談窓口のお知らせ

建築住宅課

県では、空き家（空き地を含む。以下同じ）の所有者等を対象に、**相続・維持管理・解体・賃貸売却など、お持ちの空き家についての悩みを相談**できる「空き家相談窓口」を開設しています。相談窓口では、空き家を所有・管理されている方々の悩みをお伺いし、その悩みを解決に導いてくれる専門家相談窓口をご紹介します。

【相談できる方】

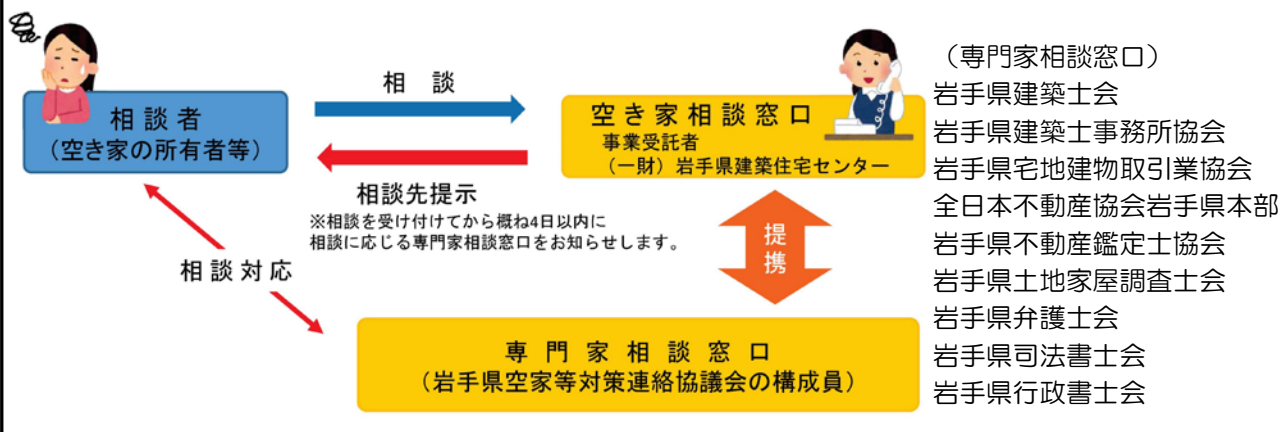
- ・ 空き家の所有者
 - ・ 将来的に空き家となることが予想される物件の所有者
 - ・ 相続等により空き家の所有・管理が予定される方
- で、県内にお住まいの方、または、空き家の所在地が県内である方

【相談費用】

相談窓口への相談は無料です。

ただし、専門家相談窓口の相談対応は有料となる場合がありますが、その場合は事前にお知らせします。

【窓口概要】



【空き家相談窓口の連絡先】(岩手県からの事業受託者)

一般財団法人岩手県建築住宅センター 担当：総務企画室

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1 アイーナ2階

電話：019-652-7744 メール：center@ikjc.or.jp

相談対応時間：月曜日から金曜日の午前9時から午後5時（祝休日・年末年始を除く）

空き家は、**放置していると老朽化が進行**し、借り手や買い手が付きにくくなる他、周辺住民や通行人に対し**危険を及ぼすおそれ**もあります。相談窓口を活用して頂くほか、空き家を放置せずに**適正な管理や相続登記**をお願いします。